

第 2 回 静岡市静岡地区 L R T 導入検討協議会

- 1 日 時 平成 2 5 年 3 月 1 8 日 (月) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 3 0 分
- 2 場 所 ペガサート 7 階 大会議室
- 3 出席者 (委 員) 久保田会長、瀧委員、坪井委員、山本委員、櫻井委員、
小股委員、村松委員、北村委員、丹羽委員、
柳沢委員 (代理 : 伊藤委員) 、 風間委員
(事務局) 小長谷都市計画部長、小林参与兼交通政策課長、
吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 5 議 題 静岡地区における L R T ルート設定と利活用による導入効果
- 6 会議内容
- (1) 第 1 回協議会の指摘事項と対応 (案)
 - (2) 静岡都心 (葵・駿河ルート) におけるルート設定の考え方
 - (3) 設定ルートの利活用による静岡都心で期待される効果、効果のイメージ
 - (4) 葵・駿河ルートにおける需要及び採算性
 - (5) 葵・駿河ルートにおける軌道整備の考え方
 - (6) 葵・駿河ルートの導入に向けた研究会で示された課題解決の方向性
 - (7) 静岡市における L R T 導入の効果

○意見交換

～ルート～

- ・現在示されているルートは、平成 23 年度の研究会において中心市街地の活性化や静岡鉄道との連携から導かれたものであり、これをベースとして将来的な L R T によるネットワークの構築を目指すとの考えで議論していきたい。
- ・葵ルートは、既成市街地の将来の姿を見据えながら L R T の意義や位置づけを導く必要がある。ここでは商店街における道路空間のありかたも考える必要がある。
- ・駿河ルートは、沿線居住地と都心市街地を結ぶ役割を担うので、ルートの設定においては人口の貼り付きや開発計画等を踏まえることが重要である。

ルート案

- ・葵ルート 浅間山方面や駒形・井ノ宮方面への延伸
青葉通りを車両基地として活用
静岡鉄道春日町駅と音羽町駅間での線路接続
七間町のトランジットモール化
- ・駿河ルート 両替町通りから AOI 横の道路を通り、商工会議所付近から駅南方面への接続
長田方面への延伸

～需要・事業費及び採算性～

- ・ 今回の資料で示された需要や採算性は、平成 23 年度の研究会から一部見直されており、今回は概算値と理解するが、条件や考え方等について更に詳しい説明をいただきたい。また需要は 10 年前の交通実態調査を利用しており、データが古くないか。採算性は、一律 150 円の料金設定をとっているが、距離に応じて料金設定を変えるべきではないか。
- ・ 開業当初から 30m 級の車両を導入する点など、設備計画においてもまだ明確でない部分が多い。また静岡鉄道の車庫を活用するとのことだが、既存の路面電車の車庫はどのようなものなのか。